



# バンコク便り



## 1. はじめに

2月27日、タイの暑季入りが発表され、年間で一番暑い季節となりました。4月には水掛け祭りであるタイ正月ソンクラーンがありますが、今年も大勢での水の掛け合いは禁止され、祝賀イベントは徹底した感染対策を行えば一部許可などの発表がありました。祭りの起源でもある、仏像や仏塔、家族の年長者などの手に水を掛けてお清めする伝統的な風習は許可されます。昨年はソンクラーン休暇全体が延期となりましたが、今年は予定通りとなるため、国内観光も盛り上がってきています。

## 2. 当地ビジネス情報

### (①タイ入国時の隔離期間短縮)

タイ政府は、入国時に義務付けている14日間の検疫隔離について、一定の条件を満たした場合は期間を短縮すると発表しました(4月1日より)。加えて、隔離期間中の行動制限も緩和され、滞在ホテル内のフィットネスルームやプールなどの利用も認められます。14日間の検疫隔離を経験した方からは、「10日になるだけでも全然違う」、「体を動かせるのはありがたい」などの話もありました。ワクチン接種済み外国人旅行者の隔離免除が、7月には試験的にプーケットで、10月にはタイ全国で計画されるなど観光需要取り込みに向け様々な動きが出てきています。

隔離期間	条件	隔離期間中PCR検査
7日間	出発前72時間以内の検査での陰性証明書あり・14日以上前にワクチン接種済みの証明書あり	1回
	同陰性証明書なし・同ワクチン接種済み証明書あり	2回
10日間	同陰性証明書あり・同ワクチン接種済み証明書なし	2回
14日間	指定する変異株が流行している国・地域	2回以上

### (②2030年までに自動車生産の50%がEV?)

国家EV政策委員会は2030年までに国内自動車生産の50%を電気自動車(EV)にする新目標を検討中との報道がありました。これまでの目標30%から大幅に引き上げられた形になります。背景にはタイの深刻な大気汚染がEVへの関心を高めているとされ、タイ政府もEV化促進に積極的な姿勢を示しています。タイ投資委員会(BOI)でもEV関連事業者に対する特典を付与するなど、各事業者もわずか10年足らずで大きな変更を余儀なくされそうです。またEV充電スタンドなどのインフラ面も整備が進められ、2022年中には300ヶ所の設置を目標としています。

一方でEVの価格や一戸建て住宅に充電器を設置できる層に限られ、どこまで拡大するのかという不透明な部分もあります。中国系メーカーは低価格かつ充電器付(設置代込み)のプランを用意するなど、新たな市場開拓に積極的に動いています。

## 3. 現地トピックス

### (山形市がホストタウン、タイ柔道ナショナルチーム活動再開!)

山形市がホストタウンとなっているタイ柔道ナショナルチームから、嬉しいお知らせが届きました!新型コロナ規制のため道場が使用できず、練習ができない日々が続いていましたが、バンコクでの規制緩和を受け3月より活動再開しました。また、ホストタウン応援団となっている山形大学附属小学校の生徒から届いた手紙へのお返しにタイ柔道チームもビデオレターを送るなど、コロナ禍でもできる活動を行い、お互いの国を知る貴重な機会となったようです。

荘内銀行及び山形県タイ友好協会ではこのような取り組みを応援し、コロナ明け後の実際の交流再開に向け活動して参ります。



タイ柔道チームの練習風景  
提供：タイ柔道連盟

【本件に関する連絡先】 営業推進部 地方創生室 石井・高橋・楨 023-626-9050  
【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム (在バンコク)